

平成20年7月4日  
東北地方整備局

## 入札監視委員会第一部会第1回定例会議（6月30日）の 審議概要について

～抽出案件11件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成20年度東北地方整備局入札監視委員会第一部会第1回定例会議が、6月30日（月）に仙台市の東北地方整備局で開催されました。  
当部会の部会長には遠藤委員、部会長代理には内田委員が選出されました。  
定例報告では、平成19年度第4四半期分を対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③一位不動状況、④低入札状況）の報告を行いました。  
議事では、委員により抽出された案件11件の審議が行われました。  
なお、委員からの意見の具申・勧告事項は、ありませんでした。

○ 審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区二日町9番15号

主任監査官

契約管理官

技術管理課長

TEL (022) 225-2171（代表）

はたけやま もりお  
畠山盛雄（内線2114）

くまがい いさお  
熊谷伊佐男（内線2222）

あかがわ しゅういち  
赤川正一（内線3311）

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所		平成20年 6月30日（月） 東北地方整備局 大会議室	
委員		部会長 遠藤 孝夫（東北学院大学工学部環境建設工学科教授） 部会長代理 内田 貴和（公認会計士・税理士） 委員 佐藤 英世（東北学院大学法科大学院法務研究科教授） 委員 宮原 育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授）	
審議対象期間		平成20年 1月 1日 ～ 平成20年 3月31日	
総抽出案件		総件数	11件
工     事	抽出案件		5件
	一般競争 (WTO対象)		1件
	一般競争 (WTO対象外)		4件
	工事希望型競争		0件
	通常指名競争（一般土木）		0件
	通常指名競争（その他）		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等			4件
役務の提供等及び物品の製造等			2件
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別添のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし	

## 抽出案件 工事 概要書

	工事名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
1	一般国道7号 <sup>まとうやま</sup> 摩当山トンネル工事	一般競争 (WTO対象)	秋田県北秋田市栄～大館市大子内 地内	4,008,900 1回落札	14社	14社
2	浪岡道路舗装工事	一般競争 (WTO対象外)	青森県青森市浪岡大字下十川～青森市浪岡大字女鹿沢	159,600 1回落札	11社	10社
3	森吉山ダム試験湛水用ゲート設備新設工事	一般競争 (WTO対象外)	秋田県北秋田市森吉 地内	175,875 1回落札	3社	3社
4	長井ダム管理庁舎建築工事	一般競争 (WTO対象外)	山形県長井市平野 地内	215,250 2回落札	6社	4社
5	<sup>やないづ</sup> 柳津地区橋梁補強工事	一般競争 (WTO対象外)	福島県河沼郡柳津町大字藤地内	125,727 1回落札	2社	1社

## 抽出案件 建設コンサルタント等 概要書

	業務名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
6	平成19年度 設計業務等の積算改善に関する検討業務	随意契約 (簡易公募プロポ)	東北地方整備局	8,715 —	1社	1社
7	<sup>ら が</sup> 羅賀高架橋詳細設計業務	随意契約 (簡易公募プロポ)	岩手県下閉伊郡普代村第10地割 地内	69,300 —	32社	1社
8	リサイクルシステム基本設計業務	随意契約 (標準プロポ)	宮城県柴田郡川崎町大字川内 地内	7,875 —	3社	1社
9	北上川下流管内樋門等補修設計業務	指名競争	北上川下流河川事務所管内	4,515 1回落札	—	10社

## 抽出案件 役務の提供等・物品の製造等 概要書

	業務名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
10	摺上川ダム利水・緊急放流設備打撃振動測定業務	一般競争	福島県福島市飯坂町茂庭地内	1,785 1回落札	1社	1社
11	月山ダム管理台帳作成業務	一般競争	山形県鶴岡市上名川 地内	15,267 1回落札	2社	2社

別添

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
	[指名停止関係]  特になし	
	[談合情報等関係]  該当なし	
	[再度入札における一位不動状況]  特になし	
	[低入札価格調査制度調査対象工事]  特になし	
1	[抽出事案についての審議] 一般競争方式(WTO対象) [一般国道7号摩当山トンネル工事]  総合評価図では、2つのグループに綺麗に分かれているが、他のトンネル工事はどうか。  加算点について7.7点から64.9点と開きが大きい。提案内容に良い所、悪い所があるのか。  予定価格と入札価格の差が大きい、一般的なものか。	得点の分布は施工体制評価点を減点しているものと、そうでないもので2つに分かれています。他のトンネル工事においても、同様に、調査基準価格周辺に応札が集まる傾向にあります。  共通仕様書の範囲内の提案が多い社もありますし、工夫して提案してくる社もあります。また、施工体制の評価に伴い、加算点が減っている社もあります。  入札した内訳書を見ると一般管理費(会社経費)を極端に落としているケースがあります。また、ヒアリングの際には、機械の転用等で入札価格を低く抑えているとの回答がありましたが、当方の積算価格は標準的な単価及び歩掛で算出しています。  工事によって人気の有る無しがあり、人気のある工事は企業として利益の出やすい工事であると考えられます。トンネル工事の場合、現道上との調整事項が無く、24時間連続施工が可能であることから、人気が高く、他の工事と比較すると一般的に落札率が低くなる傾向となっています。

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

別添

質 問 等	回 答
<p>調査基準価格に入札価格が集中している。調査基準価格が78%で適正に工事が執行出来るか検討してほしい。継続的にチェックする必要がある。</p> <p>加算点は、各社に公表されるのか。また、自社のみがわかる公表か。</p>	<p>契約締結後は、参加した全ての社の加算点がわかるように公表をしています。</p>
<p>2 一般競争方式 (WTO対象外) [浪岡道路舗装工事]</p> <p>得点がドングリの背比べになっている。入札価格が一番低い業者が落札しているが、セメント・コンクリート舗装は技術的に差が出ない工事なのか。</p> <p>契約金額に対して、3月末までに業者側にはどのような基準で支払われているのか。</p> <p>一般的に前金払は4割満額を要求すると思われるが。</p> <p>3月期に決算を行う企業が多いが、今回の時期であれば、通常の場合は支払はいつ頃になるのか。また、この工事の支払はいつになったのか。</p> <p>バイパス全体について、現在事業中の箇所は、いつ頃完成となるのか教えてもらいたい。</p> <p>不参加となった業者があるが、不参加の理由は。</p>	<p>基本的な技術による施工なので、工種的に差が出にくい工事と思われます。</p> <p>支払の基準は前金払の制度があり、工事の場合、低入札が無ければ、契約金額の4割を限度に支払をしています。</p> <p>業者側も満額を請求してくるのが一般的になっています。契約金額の4割までとお話しましたが、低入札の場合は2割までとなります。</p> <p>出納整理期間が4月までとなっていますので、3月中に支払が出来ていない場合もあります。本件では、契約締結が3月13日であったため、前金払はしていませんでした。</p> <p>今回工事の区間を含む弘前側は平成22年度の予定で、青森側は用地買収が終わっていないため、未定となっています。</p> <p>他の工事を落札したため、配置予定技術者を配置出来なくなったと聞いています。</p>

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

質 問 等	回 答
<p>3 一般競争方式（WTO対象外） [森吉山ダム試験湛水用ゲート設備新設工事]</p> <p>加算点が一番低い業者が一番低い価格で落札しているが、この業者は入札価格をあと2,000万円上乗せしたとしても落札出来たということの良いか。</p> <p>落札者だけが価格が低いのは、参加者が少ないのは理由があるのか。価格差が大きい理由は。</p> <p>東北の企業が参加していない理由は。</p> <p>予定価格の値上げは考慮されているのか。また、鋼材の変動は加味しているのか。</p> <p>この工事についての前金払の状況を聞きたい。</p>	<p>そのとおりです。</p> <p>ヒアリング等で実態を把握したわけではないですが、当時は鋼材価格が高騰していたことが影響したのではないかと思います。</p> <p>また、価格差については、工場の立地場所により、輸送費が関係すると思料されます。</p> <p>高圧スライドゲートになることから、東北地方の企業の実績は少ない状況です。</p> <p>積算時は発注時点の実勢価格となっています。</p> <p>現在は単品スライドで対応することとしています。</p> <p>請負業者からの請求に基づき、2月28日に当初契約金額の4割を支払っています。</p>
<p>4 一般競争方式（WTO対象外） [長井ダム管理庁舎建築工事]</p> <p>不参加が非常に多い。どのような理由で不参加になったのか。</p> <p>1回目と2回目の間の説明はどのように実施しているのか。また、いつ実施しているのか。</p> <p>2回目の時点で、落札者は他の者が辞退したことはわかっているのか。</p> <p>1回目に開差があったが、国土交通省の積算は適切であったのか。</p> <p>参加者が少ないのは、管理庁舎の工事に特殊な技術が必要であったのでは。</p>	<p>推測となりますが、1回目の入札に参加しない理由は、技術者の配置が困難になったことが考えられます。1回目の入札で予定価格と開差が大きかったため、一旦、保留として、参加者に対して補足説明を実施しています。2回目の入札での不参加の理由は、価格を下げられないためと思われます。</p> <p>説明は長井ダム工事事務所で各社、個別に呼び、1月16日に実施しています。</p> <p>電子入札であるため、1社だけになっていることは分かりません。契約締結後、公表した時点にならなければ分かりません。</p> <p>適切だと認識しています。</p> <p>特殊な工事ではありません。</p> <p>建築工事では民間工事との競合があると思われます。</p>

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

別添

質 問 等	回 答
<p>5 一般競争方式（WTO対象外） 〔柳津地区橋梁補強工事〕</p> <p>参加が2社と少ないが。</p> <p>工期が2月末から7月末であり、一般土木工事のC等級に限定しているが、大丈夫か。</p> <p>不参加の理由に技術者が不足しているとの話があったが、会社として技術者がいないということなのか。</p> <p>橋を新設した業者に対して、調査を依頼する等の関わりはあるのか。</p>	<p>工事費のうち2～3割が鋼材であり工場製作を含むため鋼材価格高騰の影響があったことと、年度末工事発注による配置予定技術者の確保が難しかったのではないかと考えられます。</p> <p>規模が大きい工事ではありますが、十分施工出来ると考え、発注しています。</p> <p>専任で配置を求めていることから、自社の技術者が別件工事に配置しているため、空いていないということです。 また、先程説明しましたように近年指名停止の理由として、専任制違反が増えていることから、技術者の確保が困難ということ状況が伺えると思われれます。</p> <p>今回の工事ではありません。</p>
<p>6 随意契約方式（簡易公募型プロポーザル方式） 〔平成19年度 設計業務等の積算改善に関する検討業務〕</p> <p>何が参加表明上、障壁となっているのか。競争性の観点から望ましくないと思えるが。</p> <p>業務内容を見ると、こういった改善業務は職員自ら行うべきと考えるが。 また、整備局レベルではなく、国土交通省全体で実施する業務でないのか。</p>	<p>随意契約見直しの方針が決まらなかった等の要因もあり、今回の業務の工期が年度末の2ヶ月間であったことも参加者が1社しかいなかった原因であると考えられます。入札説明書の交付は9社ありましたが、入札に参加しなかった理由を個々の社には聞くことは出来ませんので、建設コンサルタント協会等との意見交換会等の場で確認していきたいと考えています。</p> <p>全整備局を代表して契約している協定業務となっています。そのような理由から、全地方整備局の意見集約の手間の部分などを依頼しているものです。</p>

別添

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
7	<p>随意契約方式（簡易公募型プロポーザル方式） 〔羅賀高架橋詳細設計業務〕</p> <p>参加表明者の評点表を見ると100点で同点が8社ある。どのような体制で評価を実施しているのか。</p>	<p>事務所の技術担当の副所長、担当課長、担当係長の3名で評価を実施しています。</p>
8	<p>随意契約方式（標準プロポーザル方式） 〔リサイクルシステム基本設計業務〕</p> <p>対象業者の評価表に平成17年度と平成18年度の当該業務の業務成績が空欄となっているが、当該業務が無かったということか。</p>	<p>技術提案を要請した業者に、全国において緑のリサイクルに関する業務実績が無かったために空白となっています。</p>
9	<p>通常指名競争方式（建設コンサルタント） 〔北上川下流管内樋門等補修設計業務〕</p> <p>落札率が48.6%であり、低入札ではないのか。</p> <p>落札した業者は対象業者評価表では最低の評価をされているが、このような価格で業務を履行することは可能であったのか。</p>	<p>予定価格が1,000万円未満のため、低入札価格調査の対象外となっております。</p> <p>過去にも当該業務の実績もあります。また、業務成績は65点であり、問題は無いと判断しています。</p>
10	<p>一般競争方式（役務の提供等） 〔摺上川ダム利水・緊急放流設備打撃振動測定業務〕</p> <p>申請書を提出している業者が1社だけであるが、競争参加資格要件を満たす業者数は何社あったのか。</p> <p>今回の業務は特殊な業務であったのか。</p> <p>この業務は東北地方では行われていないのか。</p>	<p>指名停止中の業者を除き、4社となっています。</p> <p>通常の業務と考えています。但し、打撃測定箇所の特定、設計等を熟知していないと出来ない業務となっています。</p> <p>確認はしていませんが、稀な業務です。</p>



別添

東北地方整備局入札監視委員会  
(第一部会第1回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
11	<p>一般競争方式（役務の提供等） 〔月山ダム管理台帳作成業務〕</p> <p>工期が2ヶ月間と短くないのか。参加者が少ないのは工期の問題もあるのではないか。 また、予定価格が1,500万円は高いように思えるが。</p>	<p>他の事務所でも同様の業務を発注しており、工期は問題ないと聞いている。 予定価格については、参加業者から参考見積を取っています。</p>
総括	<p>本日の審議結果について、意見具申又は勧告事項は、特にありません。</p>	